

Fukudai Press 40

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2020-12-15 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 福井大学広報センター メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10098/00028529

fukudai Press

【ふくだいプレス】

40

2020.12

40

医学部創立40周年
ふくだいプレスは40号
ダブル40記念号です。



1

ふくだいプレス「通称：ふくプレ」がスタート。ふくプレの前身のキャンパスエクスプレスは先生方からの寄稿が大半を占めていましたが、ふくプレは、広報課の職員が取材をし、執筆をしています。これからも、福大生にたくさん出会えますように！



2

表紙は2009年から始まった福大の恒例イベント、キャンパスイルミネーション。行燈を中心に落ち着いた雰囲気。学生広報スタッフの担当ページが誕生。



3

福井県デザインコンクールグランプリで福大生が初受賞。受賞作品が表紙に。



4

学生が表紙に初登場。



5

就活支援コンテンツ「がんばれ、就活!!」を企業のトップからエールを貰う企画に変更。毎月、企業をリードする代表の方々から、学生に向けて熱いエールを貰うことができました。広報課の職員だけが直接、伺うだけではもったいないので、希望する学生も取材に同行してもらいました。



11

ふくだいプレスの総ページ数が20Pから24PへボリュームUP!卒業生コンテンツ「学びのボタン」では、福大カラーの青色ボタンを卒業生から在学生に渡すというテーマで、ボタンを手にしてもらい撮影するスタイルに。実は広報担当者が取材先にボタンを持っていくことを失念し、とっさに白い紙をまるめて撮影、あとで写真データに色をつけてもらったという号も。取材に行く前には必ず持ち物チェックをするようになりました。



12

「学生支援センター」 「就職支援室（現・キャリア支援課）」 「カフェテリア 味葉」 新装のニュースを掲載。



13

新入生歓迎イベント「学コン」の初開催を紹介。



14

医学部ラグビー部が「関西医歯薬ラグビー大会」で初の3位入賞の記事を掲載。



15

語学センターの初代学生・アシスタント（SA）が表紙に登場。



21

「地（知）の拠点フォーラム」第1回、座談会「探求ネットワーク」開始から20年を取り上げる。



22

ふくだいプレスのタイトルの文字色を1色にしました。スッキリした印象に。



23

「教職大学院ってどんなところ？」と題して大学院を初めて紹介。



24

2016年4月の国際地域学部の新設、工学部の改組を紹介。



25

サークル!サークル!サークル!の撮影は2月。雪が舞っているなか、運動系はユニフォームを着て凍えながらも、笑顔!!先輩にお願いされて、やらざるを得ない1年生。例年、継続されている!?



31

全日本学生フォーミュラ大会で、福井大学フォーミュラカー製作プロジェクトが2006年の初出場以来の参加98チーム中14位の高順位を成し遂げた瞬間を表紙にしました。本来は開催地の静岡で初日に撮影して帰る予定でしたが、予選の結果が素晴らしい、もう1日伸ばしてその姿を見届けました。チーム一丸となり、1台のマシンに駆ける思いに触れ、取材で泣くほど感動したのは、これが最初です。



32

国際地域科学部の1期生が交換留学に。新しい学部の船出を取り上げました。第1期生に取材をすると、目がキラキラ輝いてやりたいこと満載!という意欲が伝わってきました。



33

学生広報スタッフ企画「We Love 福大」で、教授戦隊フレンジャーと冠した教員5名を徹底分析。



34

ふくだいプレスという名はそのまま、「福大の今を伝える」をコンセプトに誌面を一新。何か特別なものを立てるのではなく、キャンパスライフの日常を切り取り、福大らしさを自然に伝えるのがモットーです。



35

特集は「キャンパスイルミネーション」。表紙はあえてモノクロ写真を使い、ページを開くときらびやかなイルミネーションに出会うストーリーに。

CONTENTS



福大の出来事をハッシュタグ「#universityoffukui」でインスタグラムにポストしよう!

- 4 特集 医学部創立40周年記念対談 医学への燃えるような情熱を求めて
- 7 眠っていた「学歌」に思いを寄せる



6

特集は2011年3月11日発生した東日本大震災。福大生も岩手県陸前高田市などの被災地でボランティア活動に参加しました。一人ひとりが復興のために「何ができるか」を問いました。



7

広報センターのマスコット「広福くん」が、誌面に初登場。「広福くん」は今号12～13Pにも登場です。



8

福大生2人が代表入りした、カヌーポロ日本代表がアジア大会で優勝。「目指せ世界一！」の記事を掲載。



9

「わたしの10年後」福井大学の10年後」を特集。



10

サークルの紹介ページ「It's My Circle」スタート。



16

「福大生の恋愛データ」が話題に。



17

今では恒例となった4月号のサークル!サークル!サークル!は、この号からスタート。2日間で約30近くのサークルの取材、撮影をするため、広報課ではスケジュールを組むのに苦労しています。



18

新連載のグローバル企画開始。



19

特集「いち押し!私の愛読書」に当時の学長もおススメの本を紹介。



20

「福大生はふくプレの何を見るのか?」広報担当者は学生に調査。多くの回答は知り合いが載っているかをチェックするという。ということで、より多くの学生に誌面に登場してもらおうと、キャンパス内で出会った学生にテーマに沿って一言もらう「福大生ナウ」が誕生。



26

ふくだいプレスのタイトルデザインを変更。Fをアイキャッチにしました。水上の格闘技「カヌーポロ」。この表紙はなかなかのベストショットだと思いませんか?福大のカヌーポロは日本代表に選出され、世界選手権にも出場するなど、全国でも強豪揃いなんですよ。



27

秋号の表紙 初めての県外撮影は世界農業遺産。石川県輪島市の白米千枚田(しろよねせんまいだ)です。



28

学長特別座談会「福井大学が進める高大接続と教育改革」掲載。



29

春号特集「サークル!サークル!サークル!」が6Pに拡大。



30

めでたく30号を達成!



36

新入生歓迎サークル特集は、撮影した写真を公式インスタグラムにも掲載。



37

表紙には、医学部坂井豊彦准教授の特集で語った言葉「システムが人間の邪魔をしてはいけない」カッコイイに尽きます。



38

福大のキャリア支援がNHKによりドラマ化したことを特集で掲載。主演の水川あさみさんや白石聖さんが大学でロケ。みなさんがいつも使っているあの教室、あの廊下でドラマで使用されました。ドラマには、福大の学生、教職員もエキストラで出演しました。



39

コロナ禍で入学式が挙行されず、新入生にふくプレを手渡しできなかったことは残念でした。

そして、40号。
創刊号の2010年から2020年、10年間に亘り「ふくプレ」と呼んでいたこの広報誌をこれからもよろしく願います。在学中も卒業後もぜひ、手に取って読んでください。

8 研究者ファイル

- [File25] 教育学部 近藤 雄一郎 講師
- [File26] 医学部 大嶋 勇成 教授
- [File27] 工学部 佐藤 勇二 准教授
- [File28] 国際地域学部 横井 正信 教授

12 新企画始動! 青は藍より出でて

- 14 産学官連携本部発 未来への布石
 - コラム「知的財産・技術移転部です」第7回
- FUKUDAI NEWS

16 こちら学生広報室 No.007

- 「vs コロナ ～福大の陣2020～」
- 18 福井大学基金 寄附者ご芳名

※所属・学年は取材時のものです。

まさしく

ゼロからのスタート

福田先生（以下、福田）／僕は、昭和55年の開学と同時に、初代の病理学教授として赴任したのだけれど、当時は実習棟と講義棟があるだけだった。研究棟も病院もなかった。ここにあるような高性能の顕微鏡も揃っていなかったし、病理標本はつくるどころから始めなければならなかった。僕の出身大学に協力してもらうなどして、最初は300種くらいをつくったかな。

解剖学の野条良彰教授は、実習用の献体を確保するために、尊いご遺体を集めるといって、大変な仕事からはじめられた。献体者の会である「しらゆり会」を事務方として熱心

に支えた当時の庶務課長の芦沢 弘氏のご自身を献体され、そのご遺志は忘れてはならない。

山岸さん（以下、山岸）／まさしくゼロからのスタートですね。

福田／そうだね。教員は金沢大学、京都大学、京都府立医科大学などの医学部から集まったハイブリッドのような感じで、その先生たちが医学部を支えた。

そして、開学の翌年は五六豪雪。鉄筋コンクリートの耐用限界を超える積雪のため、教員宿舍の屋上から、教員も職員も総出で雪下ろしをした。学長、副学長、局長の宿舍は、大学から10キロメートル以上離れたところにあって、そこにも歩いて行って、雪下ろしをした。

僕はその時、屋根から滑り落ちてね。

山岸／えっ。

情熱を求めて

1980（昭和55）年、福井大学医学部の前身「福井医科大学」が開学し今年、創立40周年を迎えた。その軌跡と未来へと繋がる礎を探るべく、開学当初を知りつくし、さまざまな立場でこの40年をつぶさに見てこられた元学長・福田 優先生にご登場いただくこととなった。場所は、かつて福田先生も教壇に立たれていた松岡キャンパスの組織病理室。今、ここで学んでいる医学部医学科2年の山岸治輝さんが話をうかがった。

福田 優先生

1942(昭和17)年、新潟県に生まれる。1973(昭和48)年、京都府立医科大学大学院医学研究科博士課程修了。医学博士(病理学専攻)。同大学助手、講師を経て、1976(昭和51)年、ドイツ・フライブルク大学病理学研究所において病理学研究に没頭。1980(昭和55)年、福井医科大学医学部教授、同医学科長、同附属病院病理部長、福井大学副学長などを経て、2007(平成19)年、同学長に就任。2013(平成25)年、福井大学を退職後も、病院での病理診断、福井県内を巡回健診するなど精力的に活動。新しい医学情報を知り、深めるため、この6年間で150冊以上の医療関係本を読破するなど日々まい進している。

燃えるような

医学への

Special
issue 01

医学部
創立40周年
記念対談

特集

福田／でも積雪が多く、ガレージの波板屋根の上に落ちたから、ケガはなかったよ。当時はたしかに大変だったけれど、教職員と一緒に力をあわせて作業をする経験をしたから気心も知れて、「一つ釜の飯を食った」間柄になった。だるまストーブの上でスルメを焼きながら、事務官と教官が大学の将来を語り、今後どうしていくべきかをしょっちゅう議論して。あれは、ものすごくプラスだったと思うね。

僕が福井大学の学長になったときにも、事務局のみんながものすごくよく働いてくれて、僕は、すいぶん楽な学長だったよ。病院の再開発が決まり、講義棟も新しくなり、語学センターができ、工学部、教育地域科学部、医学部の改築ができたのも、事務局が一生懸命やってくれたおかげ。福井大学だけになんでそんな多くの予算がつくのかって、他の大学

の学長にうらやましがられたくらい。そういったことも、開学のときから、事務局のみんなと意気投合してやってきた、その延長線上にあったんだ。

一期生たちの開拓精神

山岸／開学当時の学生は、どんなふうでしたか？

福田／第一期生は、非常に優秀な人間が揃っていたな。何が優秀かという、気構え。自分たちは第一期生で、大学の将来を担うんだという開拓精神に富んでいた。だから、一生懸命勉強してくれた。事実、医師国家試験の合格率は100パーセントに近い、全国でトップレベル。

ところがね、僕は、学生にとっても厳しく接していて、毎年、何人かは留年させた。そのころの教え子たちが今は立派な医師になっているのを見ると、もうちょっと将来点というものを加味してもよかったのかな、というふうに思ったり、いやいや、そうではない、医師になる資格のない人間を医師にさせないことも、社会に対する僕の責任であると思ったり、ことあるごとに半分後悔して、半分それでよかったと思なおす。

講義を始める前に、僕が必ず言ったのは、“Ignorance is sin”（無知は罪である）。ことわざに“Ignorance is bliss”（無知は恩恵である）とあるけれど、医師には知らなかったということは許されない、医師の知らなかったは犯罪なのだ。

山岸／昔の学生のほうが、今より厳しい環境だったような気がします。今の先生方は、そんなに厳しくないと思います。

福田／厳しくないの？ それなら厳しくするように言っておくよ。

山岸／そ、それはちょっと困ります。

福田／先生が厳しい、厳しくないということは本質的な問題ではないよね。学生がどのように自主的に学ぶか、ということが大事なんだね。勉強する機会は卒業してからもあるけれど、常に誰かが指導してくれるわけではないから、礎となるのは在学中だよ。今、学んで

山岸治輝さん

医学部 医学科 2年

2000(平成12)年、福井県に生まれる。2019年、福井県立武生高等学校卒業。医学部に進学した兄の影響で、医師という仕事に興味を持つようになる。中学生のときからさまざまな医療体験セミナーに参加し、医学生や現場で活躍する医師と直接話す機会を得ることで、自分もその一員になりたいとの意志を強くし、福井大学医学部に入学。在学中に、海外に目を向けて広い視野を身に付け、将来は医師として海外で勉強し、日本在住・滞在中の外国人患者の助けになりたいとの思いを抱いている。



いること全てが、これから大きな力になる。医学部の学生にとって、無駄になることは一切ない。どれも将来、必ず生きてくる。そう思って勉強すると、考えずに流すのでは全然違う。

山岸／そういった熱い思いを持って勉強している人は多くないかもしれません。

福田／それが問題だね。医学部を目指す人間はね、立派な医師になって、しっかり病気を診断して、人を救いたいという、燃えるような気持ちで医学部を受験したに違いない。そこには医師を志す千差万別のきっかけがあっただろう。でも、そのきっかけよりも、医学生になった、今ここからの心構えのほうがぐっと大事なんだ。今現在どういう医師になりたいと思っているか、その燃えるような情熱が一番大事。

山岸／僕もそういった大事な熱を忘れかけていたなど、今、お話をうかがっていて、いろんな思いがよみがえってきました。

福田／君自身が最初に持っていた気持ちを、学びを通して日々強めていったらいいんだよ。忘れかけていたわけじゃなくて、人間は誰でも冷めやすいから、熱を加えておかなければいけないということ。常に自分を奮い立たせるような、自分なりのものを見つけ出すことが大切だろうな。心がけひとつ、決心ひとつなんじゃないかな。

医師に欠かせない コミュニケーション力

山岸／僕は去年の夏休みに、タイのチェンマイ大学に短期留学しました。もともと異文化や考え方の違いを学ぶのが楽しくて、福井に来ている留学生とも積極的にコミュニケーションをとるようにしています。

福田／人とうまく接する能力というのは、全人的なもので、薄っぺらな人間は患者さんともうまく接することができない。患者さんと話し合うときに、どういう経歴があるか、病歴があるか、あるいは渡航歴があるかななどを質問することはすごく重要で、それは、まさにコミュニケーション学だよ。コミュニケーション力がないと、看護師や技師などのコ・メディカルスタッフとうまくチームを組んでやることもできな

い。彼らを尊敬できる人間、あるいは彼らから尊敬される人間になるためには、幅広い教養と人格が必要。それを養うためには、何をやっても全部肥やしになる。タイに行ったのは非常に良いことだね。

山岸／受験のときは友だちみんながライバルで競って勉強していた感じですが、今は友だちとコミュニケーションをとりながら、試験に向けて勉強するのも楽しいです。

福田／それはいい勉強法だと思うよ。連帯感が増すということだけではなく、自分だけでは気がつかなかったことに気づかせてくれる。なかには嫌なやつもいるかもしれない。でも嫌なやつとどうコミュニケーションをとっていくのかということも大事なんだね。患者さんもいろんな人がいて、いちいち腹をたてていたら医師は務まらない。忙しい診療が終わって帰ろうと思っているときに、酒に酔った患者さんがやってきたとする。なんで診なきゃいけないのと思うか、平常心で客観的に診ることができるか、そういうことが養われるのも今なんです。

山岸／日本は、少子高齢化がさらに進み、将来、働き手として外国人を受け入れる体制もつくっていかなければならない。そうなったときは、実際に患者さんとして診ることもなると思いますから、外国人ともうまくコミュニケーションをとれるようにしたいです。

福田／世界中のすべての言語を話すためのトレーニングは難しいから、せめて英語でコミュニケーションできる能力はほしいね。医学的な専門用語も含めて、ちゃんと英語で診断できるまでしておくこと。そして次に留学する際は、日本で医師免許をとって、一定の研究をすませて、むしろ外国に輸出するような気持ちで行ってほしいな。

好奇心と情熱を楽しむ

山岸／僕は中学の頃から医師になることにあこがれていて、やっと医学生になれて、自分のやりたかったことが勉強できている。勉強は全部楽しいです。

福田／それは、非常にいいことだね。僕は学長の務めを終えてから足掛け6年になるけれど、毎週土曜日は、越前市の病院で病理診断をやり、ウィークデイは週に2〜3回、多い時には4回、健診車で福井県中をまわって健康診断を行っている。これをするために、臨床を勉強しなおした。この6年で新しい医学専門ジャーナルを含めて150冊以上の本を読破してね。でも、すぐ忘れるんやな。ああ、なんだったかな、と思ってもう一回読もうとする。それを楽しみながらやっているわけ。

今までは自分の専門である病理から臨床をみていたが、臨床の側から病理を見ることができるようになった。それまで所見であり気にならなかったことがぐっと見えてくるわけ。遙かに詳細な病理診断ができるようになってきた。

山岸／福田先生は今も飽くなき情熱を持っていらっしゃる。

福田／それは、好奇心。もっと平たくいえば野次馬根性だね。あれ、なんでそうなっているの？ おもしろいなと思えること。初めて解剖したときには、なんてきれいなんだと思ったね。組織学でもそうだよ。あるひとつの目的、人間の生命を維持するという目的のために、すべての細胞がどうしてこんなにうまく働いているのだろうか。それがものすごく不思議だった。解けない謎だけだね。興味を持つ、驚きを持つことが大事だと思うな。

山岸／ちょうど今、発生学を勉強していて、去年学んだ解剖学から流れが繋がっておもしろいです。

福田／そう、そういうことが大事だね。今、君たちがやっていることは全部、宝の山。

いやな授業や、くだらないと思う授業もね。

山岸／今日、お話をうかがって、今勉強していることが、ひとつも無駄じゃないというのを忘れないでおうと思いました。そして、いろんな人とかわかってコミュニケーションの能力



をできるだけ高めたいと。

福田／その通りだね。今日は君と話せてよかった。楽しみながらがんばってください。あっ、もうひとつだけアドバイスを。一教科、一教科書を必ず読破しなさい。心電図の一冊、生理学の一冊、解剖学の一冊、内科学書も名の通ったスタンダードを一冊、外科も日本語でいいからちゃんと選んで。お金がかかるけれど、将来、それで飯を食っていこうというわけですから、自分に投資しなければ。これだけは、忘れずに言おうと思ってきました。

医学部創立40周年を機に、もう一度、なんのために医学を学ぶのかということを出してもらって、大学の伝統を振り返って、みなさんの気持ちを新たにしてもらえるとありがたいな。

山岸／はい。今日は貴重なお話をありがとうございました。

眠っていた 「学歌」に 思いを 寄せる



松岡キャンパス文書庫に 保管されていた手書きの楽譜

NHK朝ドラ「エール」。主人公のモデルとされる作曲家、古関裕而さん手書きの楽譜が、松岡キャンパスの文書庫に保管されているのが見つかった。「福井医科大学校歌」と題されたえんぴつ書きの楽譜。医学部創立40周年の記念誌編集のため、編集委員が過去の資料を整理する際に探し当てたもので、手書きの楽譜のほかに、学歌が収録されたオープンリールの原盤やカセットテープなども保管されていた。

前ページの対談にご登場いただいた福田 優先生は、学歌誕生のいきさつについて、こう語る。「初代学長である高瀬武平先生の音頭取りで、学歌と学章を制定しようということになった。学章は、僕が初代編集長を務めていた福井医科大学広報誌『くずりゅう』で公募して、今は使っていないけれど、グリーンの色地に水仙の花が白く浮き立つ学章に決定した。学歌は当時、内科学教授で附属図書館長でもあつ

た中村 徹先生を中心にして、伊藤柏翠先生に作詞を、古関裕而先生に作曲をお願いして、実に立派な学歌が出来上がった。

伊藤柏翠さんは高浜虚子に師事し、1万を超える多くの句を残した俳人。詩を完成させるために、叡山に三日三晩こもったという。

古関裕而さんは、その生涯に5000以上の作品を手がけた昭和を代表する作曲家。1964年の東京オリンピックの開会式に流された「オリンピック・マーチ」、現在も毎年夏の甲子園に響く「栄冠は君に輝く」をはじめ、ラジオやテレビドラマ、映画、ミュージカルなどさまざまな分野でヒット曲を生み出した超売れっ子だった。

この学歌について古関さんは、『くずりゅう』へ寄稿文を寄せている。「明るくおらかな旋律を付曲することが出来て、作曲家としては満足しています。卒業生の皆様方が社会人となられてからも、ふとこの学歌を口ずさまれる時に、楽しかった学園生活を思い出されるに相応しい学歌であるようにと心がけました」。

福井に息づく 医学の歴史と伝統

「大九頭竜の行くごとく濁世に病める人々を広く救わん理想を持って」。一題目にあるこの歌詞は、天然痘の治療に有効な種痘の種を福井にはじめて植え付け始めた、幕末の名医・笠原白翁を思い描いていると、福田先生は言う。さらに、「杉田玄白先生も嶺南から出ておられる。福井には医学史に欣然とする歴史がある。それを引き継いでいく期待も込めて福井医科大学は創設されたわけです。学生のみならずには、そんな誇りをもってがんばってほしい」と。

学歌も学章も、2003年10月の大学統合により役目を終えたが、学歌は今でも「福井大学医学部同窓会白翁会」の会歌として引き継がれている。

古関裕而さん手書きの楽譜や原盤などの資料は、文京・松岡両図書館で保管している。

運動嫌いな子どもにも 笑顔があふれる体育授業を

近藤 雄一郎

KONDO Yuichiro
教育学部 講師(体育科教育学)

Profile

1983年、群馬県生まれ。2012年、北海道大学大学院教育院教育学専攻博士課程修了。同大学院教育学研究員の専門研究員、同大学や、北翔大学などの非常勤講師を経て2019年4月より福井大学教育学部講師となる。



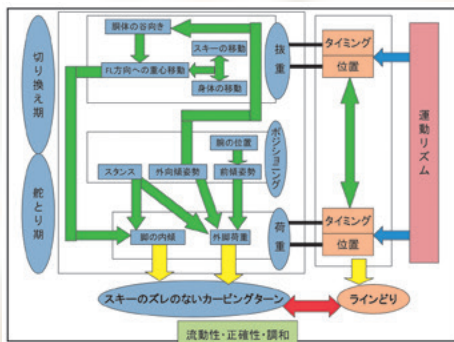
It's My Favorite!



家族と行くスキーが楽しくて、一緒に滑る娘が上達する姿を見るのはとても楽しいです。

アルペンスキーを科学的に探究

雪の斜面に旗門が設置されたコースを滑ってタイムを競うアルペンスキー。スピードを出すための体力に加え、ターンの技術が問われる競技です。私もかつてこの競技の選手でしたが、大きなけがをしたことなどで競技生活を断念し、恩師の勧めで指導者の道を選びました。大学院で体育科教育研究の面白さにもハマることに。テーマにしたのは、感覚ではなく、科学的な面からアルペンスキーの指導をどう行うかについての研究です。



アルペンスキーのトップ選手と各競技レベルの選手の滑りを撮影した連続写真やビデオ映像を比較して科学的に分析し、結果を伝えて競技力の向上に活かしてもらっています。科学的といっても、このターンでは進入角度が何度だからタイムが何秒遅れる、といった数値を示すだけでは伝わりません。選手とコーチが理解して実践できるよう、例えば「旗門の上部でスキー板の先端を方向付け、身体全体を使い外側のスキー板に荷重する」と動きを言語化して伝えることが大事になってきます。氷点下の雪上での長時間にわたる撮影は苦勞しますが、アドバイスした選手が大会で好成績を上げるとその甲斐があったとうれしくなります。日本人選手が国際大会で活躍できるよう、競技力の向上に貢献していきたいと考えています。

研究成果を学校現場へ

動き方の言語化は、スキー指導に限らず、他のスポーツ、さらには学校体育の現場で重要なことです。学校では、運動の苦手な子どももいます。競技スポーツの指導やルールを体育授業にそのまま持ってきてしまうと、多くの子どもがつまずいてしまうのです。動き方をどう言葉で表現するかという工夫、運動の得意な子と一緒に考えてみんなが関わるといった授業作りをすると、楽しく取り組めるようになります。また得意な子も動き方をより深く理解するきっかけになり、上達する可能性が広がります。

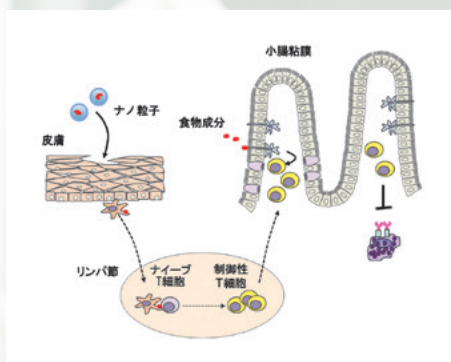
苦手意識を持つ子どもを一人でも減らし、笑顔があふれ活気ある体育授業を創造することを使命として研究を行っています。

成長とともに病態がかわる

私たちの体には、細菌、ウイルスなど体にとって有害なものを異物と認識して攻撃、排除する仕組みがあります。これを「免疫」と呼んでいます。アレルギーは、本来は体に無害なものである食べ物などに対して反応し、自分の体を傷つけてしまう過剰な免疫反応です。

アレルギーのある子どもたちには、「アレルギーマーチ」と言って成長とともにアトピー性皮膚炎や食物アレルギー、ぜん息など異なる症状が次々と出てくる傾向があります。なかでも食物アレルギーの子どもたちが増えており、症状によっては生命にも関わる重要な問題になっています。かつては、原因食物を摂取させない「食物除去」が治療の主流でした。しかし、食物アレルギーの考え方が変わり、原因食物を少量ずつ摂取させ、食べられる量を増やしていく試みが行われます。摂取が可能な量を積極的に増やすため経口免疫療法が試みられていますが、重篤なアレルギー症状が起きる危険性が問題になっています。

未来を担う子どもたちのために



現在、私はより安全な免疫療法の開発に向けて研究を進めています。原因食物を直接食べるのではなく、その原因食物の成分等を含んだナノ粒子にし、ごく少量を皮膚に投与、アレルギー反応をおこさずに免疫の働き方を変える免疫療法を検討しています。免疫の働き方を変えることにより、原因食物を摂取しても消化管の粘膜でおきるアレルギー反応を抑制することで、食物アレルギーを克服することを目標にしています。

いつかは、食物アレルギーだけでなく、ぜん息など他のアレルギー疾患の本態に迫って、完治につなげられる免疫療法を確立したいと思います。

研修医の頃、ぜん息に長期にわたって苦しみ、命を落とす子どもたちの診療に携わりました。この子たちの未来を救いたいとの思いが、小児科医を目指したきっかけです。子どもたちが将来、これらの病気に苦しまなくても済むよう支えて行く過程が医師として成長できる、それが小児科医の醍醐味だと私は考えています。

アレルギーに苦しんでいる 子どもたちに明るい未来を

大嶋勇成

OHSHIMA Yusei
医学部 教授(小児科学)

Profile

1961年、石川県生まれ。1993年、京都大学大学院医学研究科博士課程了。1985年、兵庫県立塚口病院などで臨床研修、1993年、福井県立病院、国立療養所京都病院、1995年、カナダ・モントリオール大学付属ノートルダム病院アレルギー研究室を経て、1998年に福井医科大学医学部小児科学(現福井大学医学部小児科学)に勤務。2010年より現職。



It's My Favorite!



出張時の新幹線の中や待ち時間の間で読書するのが楽しみです。歴史ものなどを、いろんな図書館をはじめて借りています。

素粒子をとりまく 力を探求する

佐藤 勇二

SATO Yuji
工学部 准教授(物理学)

Profile

1997年、東京大学大学院理学系研究科博士課程修了。プリンストン大学、高エネルギー加速器研究機構、筑波大学を経て、2019年、福井大学工学部物理工学科准教授。この間、日本学術振興会海外特別研究員、インペリアルカレッジ・ロンドン Academic Visitor。

It's My Favorite!



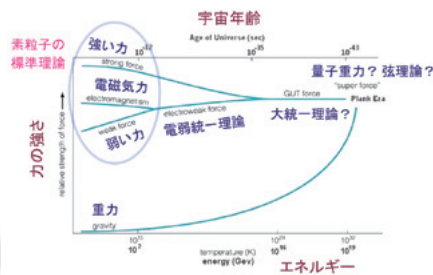
福井に来てから移動手段が「徒歩、えちぜん鉄道」だけでしたが、折りたたみ自転車を買いました。快適です。

全ての現象は4つの力による

物理学は「自然」の成り立ちを探求する学問です。この「自然」とは、みなさんが身近に見ている山や川だけではなく、巨大な宇宙全体から原子・原子核などの小さな世界まで全てのことです。「自然」の最も基本的な構成要素が素粒子です。素粒子の世界の現象は加速器という実験装置で調べることができませんが、私が専門とする素粒子理論は、素粒子、そして自然の成り立ちを理論的に研究する分野です。

素粒子を含む自然界の様々な現象は全て、重力、電磁気力、弱い力、強い力の4つの力によるものと考えられています。そのうちの重力以外の3つの力は量子力学と特殊相対性理論という2つの枠組みで理解されています。私は量子力学に基づいて残りの重力も統一的に理解することができる、量子重力理論の構築を目指した研究を進めています。

宇宙の歴史と4つの力の統合



出典: <https://universe-review.ca/I02-01-unify.jpg> を編集

重力を含む4つの力の統合

重力の理論である一般相対性理論は、ブラックホールや重力波などの天体・現象を予言します。この一般相対性理論と小さな世界の量子論を統合することは物理学の大きな目標の一つであり、世界中で研究が進められています。その理論の有力な候補として、素粒子は大きさを持たない点の粒子ではなく、実は非常に小さなひも（弦）であるとする「弦理論」があります。この弦理論に基づいて量子的にブラックホールを考えてみると、性質を知ることが困難な「力の強い」場合の素粒子の理論と「力の弱い」重力の理論が結びつくことがわかってきました。この関係を用いると、通常はスーパーコンピュータによる大規模な数値計算を必要な力が非常に強い場合の素粒子の性質も、重力の理論側から「紙と鉛筆」による計算で調べることができません。

私も最近の共同研究で多くの議論を重ねながら、力の強い場合に素粒子同士が衝突したときの「素粒子の散乱」の確率を求めました。こうした素粒子、重力の未知の性質の研究を進めながら、もっとも基本的な自然の成り立ちを探求していきたいと考えています。

ドイツの政党政治から 日本を見つめなおす

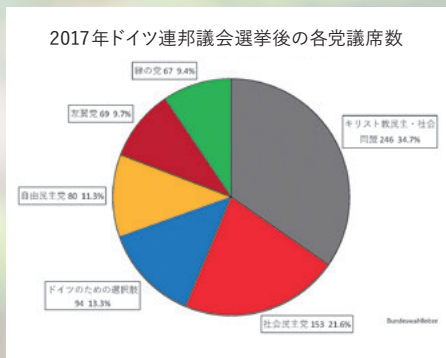
横井 正信

YOKOI Masanobu
国際地域学部 教授(政治学)

日独の政党政治の現状

日本とドイツは、先進国の中でも二度の世界大戦を経て議会制民主主義が定着するなどの点で歴史がよく似ています。西ヨーロッパ諸国では、20世紀前半を中心に強固な組織と多数の党員を有する大政党が台頭しましたが、近年、ドイツでは大政党が勢力を衰退させ、「多党化」が進むと同時に、選挙のたびに投票する政党を変更する有権者が増加しています。対して日本は自由民主党が長期政権を維持する「一党優位政党制」の状態が見られます。一見、対極にあるように見えますが、比較政治学の視点からは別の姿が浮かび上がってきます。

相対的に比較し 本質を捉える



2017年の衆議院選挙の結果を見ると、自民党は議席占有率では約61%となり、特に小選挙区では4分の3の議席を獲得して圧勝しましたが、得票率では比例代表区で約33%、小選挙区でも約48%と過半数に達しませんでした。また、自民党と比べるとはるかに小さいものの6つの政党が議席を獲得する一方、投票率は約54%へと低下しました。どうやら、日本でも実はドイツと同じように、特定の政党を強く支持する有権者の減少が起きているということです。

有権者の政党支持という観点から日独を比較しましたが、どちらが優れているかという問題ではありません。比較政治学では、複数の国で、時代ごとに社会経済的背景を相対的に比較、分析することにより、政治的構造の本質を客観的に捉えることをめざしています。例えば、様々な国において長期政権を維持している政党は変化がないように見えがちですが、多くの場合、時代に合わせてダイナミックに変化してきていることがわかっています。

留学前には渡航先の国について学ぼうとしますが、実際に行ってみると、留学先では、歴史など日本のことを逆に聞かれる場面が多いでしょう。留学は自国と他国を比較し、日本、あるいは自分を深く理解することができる格好の機会です。



Profile

1957年、滋賀県生まれ。1986年、京都大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得退学。1986年、京都大学法学部助手、1989年、福井大学教育学部助教授、2001年、同大教育地域科学部教授、2016年、同大国際地域学部教授となる。

It's My Favorite!



ドイツは西部や南部を中心としてクリスマスマーケットが盛んです。私も大好きなので、訪れるとついつい心を引かれ木彫りの人形などを買ってしまいます。

青は藍より出でて

青は藍より出でて、藍より青し——荀子『勸学』からの成語です。荀子は、修養を積むこと（徳性を磨き、人格を高める）で、青は藍より青くなると説いています。福井大学のメインカラーは折しも「青」。藍より出でしみなさんの修養を、自薦・他薦にこだわらず、ここに紹介していきます。

目利きピト
才能・性格などを見分ける能力を備えた人。このコーナーでは、目利きピトが目指する方々を紹介します。

「青は藍より出でて」に出ただけの方を募集しています。自薦他薦は問いません。応募者氏名・所属・学年・連絡先、推薦する人の氏名・所属・学年・推薦理由を明記しE-mailで申込みください。後日、広報課から連絡します。
E-mail sskoho-k@ad.u-fukui.ac.jp

服部 優希さん（医学部医学科3年）
未来へつなぐ
支援活動

目利きピト
広報課職員
R.Yさん

新型コロナウイルスの影響で全国的に深刻なマスク不足が続いた5月。服部さんは、自分の手もとには十分なマスクがあるので、足りない人に使ってもらえたらいいのではないかと考え、県内の学生や市民から未使用のマスクの寄付を募る「ふくい



からのおくりもの」と名付けた活動を立ち上げました。集まった善意は約6千枚にも上り、県内外の保育園や福祉施設、路上生活者の支援団体などに届けることができました。

目利きPOINT

この活動の**原動力になったのは「誰もが幸せになって欲しい」という強い想い**。小学生の頃にユニセフや国境なき医師団の活動から、貧困にあえぐ国では満足な医療が受けられず命を落としてしまう、生まれる場所が違うだけで医療格差が起こる現実を知りました。この問題に向き合うため、服部さんは医師として国際協力をしたいと考えています。将来への一歩として取り組んだのがマスクの支援活動。そこで得た人との新たな繋がりを生かし、現在は自宅学習が困難な小・中学生に向けて学習支援の方法を模索しています。家庭環境の違いなどで起こる学習面の格差を少しでもなくし、子どもたちに未来を広げて欲しいと、着実に踏み出しています。

どこにでもあのようなもの、今見えているものをそのまま信じて良いのか。これは美術を学ぶ蟻塚さんと福田さんが美術に向かうポリシーです。身近なものをモチーフに蟻塚さんは木彫として人体を、福田さんはアクリル画として果物を、それぞれの感性と技法で表現します。そんな共通のポリシーをもつ二人は、その名の通り展覧会「二人展」の開催に向け日々制作をしています。新型コロナウイルスの影響で、大学に行けず大型作品の制作が出来ない期間もありましたが、自分に向き合い、作品を創りあげる大切な時間となりました。

目利きPOINT

一年中コツコツと作り続けている姿勢は、そう簡単にマネできるものではありません。

2021年3月の二人展に向けて創作活動は続きます。



自身の感性で
身近なものを芸術へ

目利きピト
教育学部
M教授
S准教授
蟻塚 知都さん
福田 裕理さん
(連合教職開発研究科教職開発専攻1年)

在宅医療に関わりたい

村上明日香さん
(国際地域学部国際地域学科2年)

目利きピット
国際地域学部
粟原知子講師

将来、在宅医療に関わりたいという夢を持つ村上さん。福井市にある在宅医療専門クリニック「オレンジホームケアクリニック」は、家にこもりがちな患者さんに外と繋がる機会を提供していると知り、自分にもなにかできることはないかと突撃訪問しました。在宅医療だけではなくまちづくりのトークイベントなどに関わるクリニックの活動を通じ、これからは在宅医療に新しい価値を見出すため、自らアクションを起こしていくそうです。



真夏の夕暮れ、教育系1号館前の広場で一人、一心不乱にジャグリングをする石原さん。この姿を見かけたことがある人も多いのではないのでしょうか。狭い自宅では練習できない難しい大技「ジェノサイド」に挑戦中です。こまを自由自在に動かして、投げたり回したり。サークルの仲間と子どもたちに披露してきましたが、今年はコロナで活動自粛に。終息後には、子どもたちの笑顔に会いたいとジャグラー魂を垣間見せてくれました。

目利き
POINT

猛練習に励む 孤高の ジャグラー

石原幹也さん
(大学院工学研究科
産業創成工学専攻1年)

目利きピット
広報課職員
N.T.さん

全ての経験は 未来の医療へ

渡邊 佑衣さん
久世 彩歌さん
(医学部医学科6年)

目利きピット
医学部医学科6年
浅岡浩平さん



第117回日本内科学会講演会「医学生・研修医の日本内科学会ことはじめ2020」に渡邊さんと久世さんが参加しました。医学部の最終学年は医師国家試験に向けて邁進しますが、臨床実習中に担当した貴重な症例を自分たちの経験として残したいとの思いから、渡邊さんは「非典型びまん性筋膜炎」、久世さんは「治療抵抗性の急性白血病」の症例を中心にポスター発表をオンラインで行いました。

渡邊さんは、びまん性筋膜炎という今まで世界でも約400例の報告しかない非常に珍しい疾患を、久世さんは、治療抵抗性の白血病が形質転換した症例を発表しました。

この経験から一人ひとりの患者さんの症例はあらゆる文献を片手に理解を深め、必ず未来に繋げたいと気持ちを新たにしました。



発表内容が掲載された冊子

目利き
POINT

将棋から命題に迫る

高津和紀さん
(大学院工学研究科
知能システム工学専攻博士前期課程2年)

目利きピット
広福くん



人間の脳の成長を見るために適した題材は何か。高津さんが着目したのは藤井聡太棋士。将棋の最も良い打つ手である最善手を導く「将棋AI」と藤井棋士の14歳から16歳の期間で棋譜を解析し、藤井が年齢を重ねるごとに形勢の悪い局面で最善手を打つ力がついていることを示しました。

高校生の頃から始めた将棋が研究と結びつき、マスコミから藤井棋士の打つ手の特徴を尋ねられるほどその分析は進化しています。

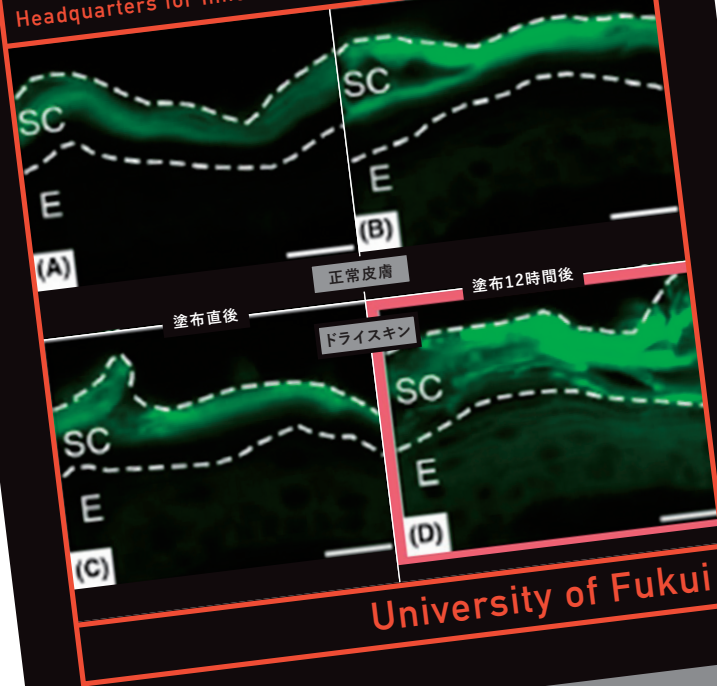
目利き
POINT



HI-SAC

福井大学
産学官
連携本部

Headquarters for Innovative Society-Academia Cooperation



お肌の世界

緑色の流れるような陰影。これは皮膚に塗ったセラミドが角層に残る様子を観察したものです。お肌の潤いにはセラミドが欠かせません。肌は、上から表皮と真皮、皮下組織からなり、セラミドは、表皮中の角層（図中SC）で水分と脂質の層をつくり潤いを保ちます。画像はラットの角層に蛍光標識したセラミドを塗布し顕微鏡で皮膚内部を捉えたものです。セラミドを塗布した12時間後には正常な皮膚より、ドライスキンの方がよりセラミドが多く残っていることがわかります。

つまり、お肌にはスキンケアが欠かせないのです。医学部看護学科の青木未来助教は、臨床現場でデリケートな高齢者の皮膚を多く診てきました。なかでも深刻だったのは、皮膚の機能不全が重篤化する「皮膚粗しょう症」という症状です。皮膚粗しょう症は、ステージ1から4まで症状が分類されていますが、ステージ2では医療テープの剥離時などに皮膚裂傷が起り、最終のステージ4では強い痛みが生じる血腫や壊死が起こってしまいます。高齢者に健やかな生活を送ってもらうために、ステージの前段階「ステージ0」の概念を提示し、未然に防ぐためのスキンケアの在り方を研究しています。

青木先生は、「適切なスキンケアを行うためには、ステージ0の皮膚の評価方法とパラメータの確立が重要。今後より一層詳細かつ簡便に評価・検出するためにAIなどを用いて自動判別できるシステムの構築が望まれます」と話しています。

今後、皮膚を採取しなくても皮膚内部を観察する方法や、高齢者の皮膚にやさしい保湿剤を開発・製造されている協力企業を募集しています。

FUKUDAI

福大FB

いいね!

トップ ↑

本学の就職率が
国立大学13年連続
「第1位」となりました

2019年度卒業・修了者の全国大学実就職率ランキング（大学通信調査）が、「大学通信オンライン」（2020年8月3日）で発表され、97.9%の本学は、学部が複数あり、単年度の卒業生1,000人以上の国立大学で13年連続1位を達成しました。全国平均88.8%を大きく上回っています。



売り手市場といわれつつも、リーマンショック以来厳選採用を志向する企業が多い就職環境でしたが、本学は、どのような状況下でも一貫して学生サイドに立った愚直できめ細かい就職支援と、時代に対応した形での企業との「出会いの場」を最大限に設けてきました。こうした地道な取り組みの積み重ねにより、高い就職率を維持することができました。多くの方々のご支援を賜り、「就職支援に手厚い福井大学」という評価を頂き、さらには「就職に強い福井大学」という伝統を確立できたと考えています。

※実就職率算出方法：就職者数÷[卒業（修了）者数-大学院進学者数]×100

NEWS

子どものこころの発達研究センターの 友田明美教授が文部科学大臣表彰を受賞

今年は新型コロナウイルス感染症の影響により、文部科学省での表彰式が挙行されず、5月20日に本学文京キャンパスにおいて、理事らが出席するなか、上田孝典学長から表彰状の伝達を行いました。

文部科学省では、科学技術に関する研究開発、理解増進等において顕著な成果を収めた者を「科学技術分野の文部科学大臣表彰」として文部科学大臣が表彰しています。令和2年度科学技術分野の文部科学大臣表彰 科学技術賞（研究部門）において、本学の子どものこころ発達研究センターの友田明美教授が受賞しました。



上田学長は祝辞のなかで「f-MRIを使って、子どもの脳を一般の方にも理解できるサイエンスとして確立していただき、全国の患者さんに対する治療法に繋がり、さらに児童虐待防止法の改正の動力源に発展するなど、あらゆる方面でその成果を發揮していただきました。今後のますますの活躍を期待しています」と激励しました。

友田教授は謝辞のなかで「子どものこころ、養育者支援の研究に専念できたことは皆さまのおかげです。また新しい前進をしていきたい」と決意を述べました。





福井大学産学官連携本部は、県内の大学や試験研究機関が産業界で連携し知的財産（知財）を扱うネットワーク「ふくい知財フォーラム」を通じて例年、セミナーを開催しています。第11回のフォーラムは、「なぜ、宇宙ビジネスが目目されるのか」をテーマにプログラムを構成。新型コロナウイルス感染防止のため、Web会議システムZoomでのオンライン開催になり、県内外の団体・企業から65名が参加しました。

講演は、民間で宇宙ビジネスを展開する2つの企業と本学教員がテーマに即した題で行われました。SpaceBD（株）プロジェクトマネジメント担当の桃尾一馬部長は、衛星打ち上げやISS（国際宇宙ステーション）を利用した宇宙空間での環境実験などの実例を紹介、株式会社アストレックスの菊池秀明会長は、宇宙産業の歴史や今後の展望を解説されました。本学青柳賢英特命准教授からは、福井県における超小型衛生の量産を目指した大学の取り組みが話されました。

続くセッションでは、今回初めての試みとして、Zoomのブレイクアウトルーム機能を利用し、参加者と講演者が意見交換を行える場を設定。セッションでは民間企業が宇宙ビジネスに参入する可能性や知財の保護活用について議論され、オンラインの利点が生かされたセミナーになりました。

第11回 ふくい知財フォーラム セミナーを開催

News

産学官連携本部の イベント

12月11日、18日
大学生・大学院生のための
Webキャリア・アップ・セミナー
(オンライン開催)

2月4日
FUNTECフォーラム

3月9日
トップ懇談会

※詳しくは産学官連携本部のホームページで、
ご案内します。



こんにちは！知的財産・技術移転部です。新型コロナウイルス禍では、授業もオンラインになり、普段よりインターネットを使うことが多くなっていますね。今回はこのインターネットに関する著作権についてです。デザイン、キャラクター、写真、他人の記事などには著作権があり複製や転用することが制限されていますが、私的使用であれば複製利用をしても良いと考えていませんか？でもインターネットは少し違います。個人的に発信しているSNSやブログであってもネットに掲載する行為は「私的使用の複製」に該当しません。ネット上は広く配信してしまうので「公衆送信権」や「送信可能化権」を侵害する可能性があります。ではデータの出典元を記せば大丈夫か？単に出典元の記載だけでは不十分。人物を撮った写真には肖像権、パブリシティ権、個人情報保護も関係するので、引用のための要件を満たす必要があります。難しい話になりましたが、アップする前にちょっと立ち止まってネット社会をエンjoyしてくださいね。

公益社団法人 著作権情報センターホームページ
<https://www.cric.or.jp>

NEWS 広報課が選んだ ふくだいニュース

記者発表

コロナ禍における新たな遠隔授業システム「F.MOCE」を開発



8月26日、本学医学部附属教育支援センターと株式会社永シシステムマネジメント（福井市間屋町）は、Googleが教育機関向けに無償提供するクラウド型教育プラットフォーム G Suite for Education と連携する医学教育に適用した新たな遠隔授業支援システム「F.MOCE」(Fukui-Medical Online Communication & Education System) を Google AppsScript を活用して開発したことを発表しました。

このシステムは現在、新型コロナウイルスが背景にあり、教員や事務の業務効率化と、学生のシステムへの不安を軽減し、「人が本来すべき」であった授業や指導、支援に時間を割くことができるよう教員用、学生用のアプリケーションを独自に開発したものです。

本学のシステムで使用しているアプリケーション、ソースコードは本学HPで公開しています。

イベント

福井大学WEBオープンキャンパスを開催



例年、開催している「福井大学オープンキャンパス」は、新型コロナウイルス感染予防のため、今年はWEB配信で7月初旬に公開しました。WEBオープンキャンパスは、学章の無限大をモチーフにした「LOOK FUKUDAI」をテーマに、コロナ禍で実際に大学を訪れることができない志願者や保護者の方が、進路を検討する上で不安を抱えることのないよう、キャンパスツアーやインタビュー動画などのWEBコンテンツを用意しました。本サイトには述べ1万5千人が訪れ、8月23日にはZoomでの学部の教員や学生と対話ができるオンライン交流会も開催しました。

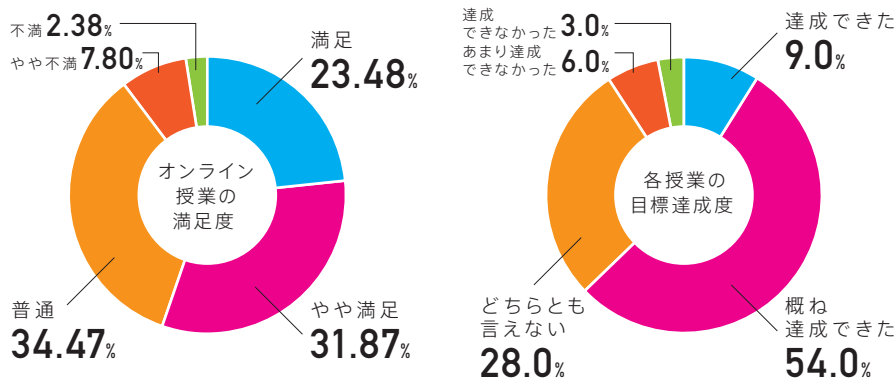
福大の陣 2020

VS



今年は、日本中がコロナと生きた1年でした。未知のウイルスによって、誰もが想像していた2020年とは違ったのではないのでしょうか。私たちのキャンパスライフも大きく様変わりし、前期授業は全てオンラインになりました。この間の私たちの〈VSコロナ〉を振り返ります。

オンライン授業は対面と比べてどうですか？



※福井大学教務課調べ（2020年8月）

😊 授業を自分のペースで受けることができ、理解しやすかったです！

😊 授業を何度も見直せるのが有り難い！

😭 学生同士が交流できる場をもっと増やして…

😞 後期もオンライン授業はモチベーションが上がリません。

2019

3月の卒業式は、福井市のフェニックス・プラザにて華々しく行われています。卒業生や修了生は、入学から4年の間に立派に成長したスーツや袴姿。4月の入学式は新入生が、キラキラと目を輝かせ、初々しいスーツ姿が毎年印象的です。



3月 卒業式

3月18日に県内1例目の感染が確認されました。例年通りの卒業式を挙行するのは難しいと判断され、規模を縮小して開催されました。



4月 入学式

4月は感染が拡大し、先が見えず、不安を抱えながら過ごす日々でした。入学式は上田学長の祝辞の配信のみとなりました。



入学式直後から授業が始まります。毎日の授業・課題に追われる日々ですが、友人と過ごす時間で絆が深まるものです。課題や演習、実験などで毎日があっという間に過ぎていきます。

授業・課題

4月は授業開始日が延期。4月16日に全都道府県で緊急事態宣言が発令。授業は例年より約1ヶ月遅れて5月11日からオンラインで開始されました。慣れないオンライン授業に戸惑いつつも、なんとか課題に取り組みました。

新歓のあとは、大会や発表会に向かって大変な練習を頑張っています。例年、多くの部・サークルが夏や秋の大会に出場しています。

サークル・部活動

3密になるため新歓は禁止。新入部員の勧誘が思うようにはできませんでした。活動も全面中止。6月からは一部活動が許されるものの屋外に制限されました。例年行われる大会や発表会はおおむね中止。



1年生に聞いてみた！

Q1 オンライン授業はどうだった？

【鈴木さん】 授業の要旨を1200字でまとめる課題があり大変でした。オンラインでグループワークのある授業は、リアルタイムに他の学生と交流できる貴重な場で楽しかったです。

【天谷さん】 何もわからない状態でオンラインでの授業が始まりました。レポート課題もありましたが、今まで書いたことがなかったので、難しかったです。国際地域学部では、英語の授業や課題が一番大変でした。

【落井さん】 授業を何回でも見られるので、自分のペースで理解していくことができました。また、通学時間を節約できていることも良い点です。

【野田さん】 オンライン授業と聞いたときはがっかりしましたが、実際に授業を受けてみると物足りなさを感じました。課題は最初、一人で頑張っていました。途中からオンライン新歓で知り合った友達と協力してこなしました。



Q2 先輩とのつながりは？

【鈴木さん】 探求ネットワークという授業の中で先輩と交流できました。先輩方が、一年生同士で会う機会も作ってくださり本当に有り難かったです。

【天谷さん】 SNS上で「#春から福大」というハッシュタグを見つけ、同じ学部の先輩とつながることができました。

Q3 どうやって友達つくった？

【天谷さん】 最初はTwitter上でつながりました。そこからLINEのグループができ、オンライン授業上で初めて会いました。オンラインでは、小グループに分かれてディスカッションしたので、そこでも友達ができました。

【落井さん】 オンラインのグループワークや体育の対面授業で同じチームになった人と連絡をとるようになりました。オンラインでしか会ったことがない友達もいました。

【野田さん】 3月に開催された説明会で、学食体験に参加しました。その時に近くの席の人に話しかけられ、偶然同じ学科だったので仲良くなりました。また、夏休みに測量1の実習授業があり、その実習ではじめて学科の友達と直接話せました。



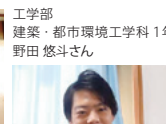
教育学部 中等教育コース 1年 鈴木 佑和さん



国際地域学部 国際地域学科 1年 天谷 心さん



医学部 看護学科 1年 落井 くるみさん



工学部 建築・都市環境工学科 1年 野田 悠斗さん

@新様式による大学生活

@コロナ禍のテスト・課題

2年生に聞いてみた!

Q1 テストはどうだった?

【今川さん】 京都府出身なので、一人暮らしをしています。部屋で一人でオンライン試験を受けるのは、慣れませんでした。対面形式の試験の方が自分の本当の理解度を知る機会になると思います。

【川端さん】 数学のテストは学校で行いました。オンラインで行うテストは、タイピングのスピードも関わってくるので、パソコンがそれほど得意ではない私にとっては大変でした。

Q2 オンライン授業はどうだった?

【今川さん】 何回でも見られるので、分からない箇所を試験前に見直すことができました。質問するのが苦手な私には好都合です。

【川端さん】 課題が本当に多かったです。普段は友達と一緒に協力して課題を進めることが多かったのですが、オンライン授業での課題は大変でした。また、アウトプットが少なく、本当に学べているのか?という不安が大きかったです。

【西岡さん】 オンライン授業は、好きな時に受講できるのがよかったです。外国語の先生はリアルタイムでの授業を好むので、ディベートの授業などは、対面だと相槌などで雰囲気は掴めるのに、それができず沈黙が続いたのが、大変でした。

Q3 友達との連絡はとれてる?

【川端さん】 LINEやInstagramで繋がっているので連絡は取っています。学生食堂でみんなでご飯を食べたり、空きコマにおしゃべりをしていた時間が恋しいと思います。

Q4 コロナで良かったことは?

【西岡さん】 私は石川県の自宅から毎日通学していたので、通学時間が無くなったのが圧倒的によかったです。

Q5 後期は一部対面に戻るけどどう思う?

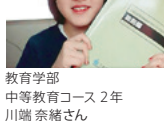
【川端さん】 私は対面派なので対面に戻ったら嬉しいです。

【西岡さん】 好きな時間に授業が受けられるのが楽だったので、実習以外はオンライン授業を継続して欲しかったです。

医学部
医学科 2年
今川 智尋さん



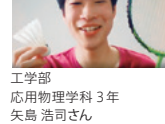
国際地域学部
国際地域学科 2年
西岡 凜奈さん



国際地域学部
国際地域学科 2年
西岡 凜奈さん



教育学部
中等教育コース 2年
川端 奈緒さん



工学部
応用物理学科 3年
矢島 浩司さん



昨年の大会の様子

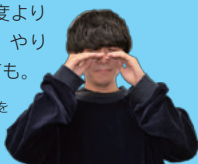


約1年間の準備期間を経て、5月上旬、2日間にわたって行われます。学生主体で多くの屋台や催しがあり、強く思い出に残る2日間です。

5月 大学祭

感染拡大防止の観点から、今年は残念ながら中止となりました。実行委員は昨年度より準備をしており、やりきれないという声も。

福井大学祭実行委員長を務める予定だった
山田 憲輝さん



7月下旬から8月上旬に、前期試験が行われます。単位取得にかかわる大切な試験なため、時には友人と協力し合いながら、必死で勉強します。

7月 試験

コロナの影響で試験にも変化が。試験日のみ出席してテストを受ける科目もあれば、オンライン試験やレポート課題が試験となるなど、様々な形式で実施されました。

8月上旬に、高校生を対象にOCが行われます。学生の実行委員会を中心に、多くの時間を割いて準備します。実際に大学を体験してもらうことで、福大の魅力をたくさん伝えていきます。

8月 オープンキャンパス (OC)

6・7月頃には福井県では第1波が収まり、マスクをしなから、感染に気をつけて過ごす日々。しかし、県内外から人が集まるOCは、感染リスクが避けられないと判断され、オンラインのみの開催となりました。



To be Continued

Pick Up! OC

LOOK FUKUDAIと名付けられた福井大学オープンキャンパス2020は、いつでもどこからでも参加できるWEBオープンキャンパスの形態で開催されました。8月23日(日)には、現役福大生や教員と、オンラインで直接交流ができるオンライン交流会が開かれ、大盛況のうちに終了しました。例年のように、顔を合わせたOCは難しい現状でしたが、少しでも福井大学の魅力が伝われば、学生広報スタッフ一同嬉しいです。

Q4 部活は入ってる?

【鈴木さん】 野球部に入りました。高校が同じ先輩に紹介してもらい、週4で活動しています。一年生は6人いて、一緒にご飯を食べに行くこともあり、楽しいです。



【野田さん】 サークル「ギルド」が主催するオンライン新歓を通じて部活動探しをしました。オンライン新歓では、みんなで人狼ゲームを楽しみました。

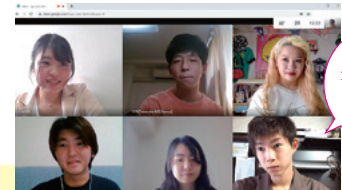
ZOOM上で新入生との交流を楽しみました♪

Q5 コロナで残念だったことは?

【天谷さん】 大学生になると、私服での通学になるので、新しく服をいくつか買いました。でも、それらを着て大学へ行けないことが残念です。

Q6 コロナで良かったことは?

【落井さん】 時間に余裕があるので、家事の手伝いをしたり、マスクをつくってみました。
【野田さん】 今、仲良くなった人たちは、もしこのコロナがなかったら出会わなかったと思います。今の生活は大変ですが、楽しくやっています。



私たちは企画・取材をG-MEETでやりました

編集後記

このページは、学生が主体となって企画や取材、そして記事作りを行っています。これまではみんなで作業をしていたことが当たり前であった学生広報スタッフも、コロナの影響でオンラインでの活動を余儀なくされました。未経験の活動に戸惑いながらも、リモートでの会議や取材を用いて、試行錯誤しながら制作にあたりました。今回の号の制作にあたり、学生広報スタッフ一同、これまで集まって活動できていたことの有り難さを痛感しました。当たり前が当たり前でなくなることとはとても不自由で、難しいことです。しかし、この〈vsコロナ〉があったからこそ、これまでの当たり前が有り難さに気づくことができました。「新しい日常」が提唱される今、私たちに本当に望まれるのは、〈vsコロナ〉ではなく〈withコロナ〉で生きることなのかもしれません。

Join our team!

学生広報スタッフ募集中!

学生広報では、新しいメンバーを随時募集しています。現在、学生広報スタッフは文京・松岡両キャンパス合わせてアットホームな活動をしています。人と関わるのが好きな方、写真を撮るのが好きな方、新しいことを始めたい方、などなど……一緒にこの誌面をつくってくれる学生の皆さんを大募集中です。広報課まで



オンライン新歓の様子
(福井の大学生を集めたカフェ・ギルド主催サークルメンバー募集中)



福井大学基金

令和2年2月1日から10月31日までの寄附者ご芳名(五十音順)

2月

個人

相磯 良充 様	小和田和義 様	菱川 祀子 様
井上 彪 様	園田 哲司 様	松木 健一 様
浦 史明 様	立林 寛 様	水田 大介 様
熊谷 敬一 様	徳市 清文 様	ほか 匿名希望 4名
小林 正幸 様	東出 幸男 様	

法人・団体

嵯峨野株式会社 様
株式会社TOKO 様

3月

個人

東 弘之 様	竹田 幸代 様	花島 信 様
居倉 正俊 様	出口由美子 様	藤澤 弘一 様
大西 純子 様	東郷 優之 様	堀 康子 様
長村 一樹 様	中根 貞幸 様	松尾 憲幸 様
多賀 義視 様	形川 俊明 様	山田 浩司 様
竹内 幸男 様	萩原 一郎 様	ほか 匿名希望 7名

法人・団体

嵯峨野株式会社 様
株式会社天晴データネット 様
ほか 匿名希望 1件

4月

個人

朝倉 勝三 様	米谷 藤作 様	近葉 善忠 様
大村 公男 様	米野 真一 様	辻本 幹夫 様
岡田 潤一 様	坂岡寿美子 様	花島 信 様
小澤 正信 様	左藤 章 様	藤井 繁子 様
片山喜代治 様	柴田 裕司 様	増田 美那 様
門 小夜 様	高村きよみ 様	松島 和子 様
加藤 丈尚 様	滝 民恵 様	安田 年博 様
金子 達郎 様	立林 寛 様	山崎 滋孝 様
川上 英男 様	田中 邦夫 様	山田 登 様
日下 貴文 様	檀野 正彦 様	吉田喜代則 様

吉光 克弘 様
渡辺 幸雄 様
ほか 匿名希望 15名

法人・団体

嵯峨野株式会社 様
北陸電力株式会社 様
株式会社ミルコン 様
柳川大橋機械株式会社 様
株式会社Largo 様

学生の皆さんへの修学支援と地域の発展のため
福井大学基金へ多くのご厚意が寄せられています。
ご支援に対し、心より御礼申し上げます。

【福井大学基金の寄附状況】

寄附申込数 4,438件(延べ数) 寄附金総額 3億3,452万9,557円

5月

個人

五十嵐 淳 様	河野 陽子 様	花島 信 様	吉尾 伸之 様	レーナーアルパート 様
石井パークマン麻子 様	代田 初美 様	平井 秀典 様	吉田満寿子 様	ほか 匿名希望 29名
伊藤 有未 様	末 信一郎 様	平林 俊 様		
上田 孝典 様	杉山由加里 様	細井 俊英 様		
大野 勉 様	竹内 健 様	牧野 浩一 様		
岡田 幸隆 様	竹川 博康 様	松木 健一 様		
長村 一樹 様	竹中 秀樹 様	宮前 速男 様		
折坂 誠 様	田中 利幸 様	山内 和子 様		
川地 寿 様	中田 隆二 様	山田 恒夫 様		
久保田康弘 様	長谷川弘光 様	結川 健一 様		

法人・団体

サカイオーベックス株式会社 様
嵯峨野株式会社 様
一般社団法人福井大学医学部同窓会白翁会 様
藤井防災エネルギー株式会社 様

6月

個人

青木 剛 様	奥泉 譲 様	武田 明正 様	堀 照夫 様	安田 年博 様
青谷 懿 様	尾原 通正 様	多田 裕一 様	牧野 浩一 様	山下佐千代 様
明石 行生 様	河坂 太志 様	田邊 猛人 様	増永 恵一 様	吉田 研一 様
赤松 善弘 様	北山太市郎 様	寺岡 英男 様	松下 眞治 様	渡邊 裕子 様
池田 芳紀 様	窪田 昭一 様	徳市 清文 様	松本 和也 様	ほか 匿名希望 13名
今村 善宣 様	腰地 孝昭 様	豊島 澄一 様	丸山 晴之 様	
岩本 広行 様	小嶋 啓介 様	内藤 法栄 様	村上 真 様	
上田 孝典 様	後藤 純一 様	仲谷 薫 様		
上田 直久 様	齊藤 泰二 様	南部 宏州 様		
梅本 修 様	坂井 忠勝 様	萩野 正樹 様		
恵美 英丸 様	坂下 雅文 様	花島 信 様		
追矢 史郎 様	佐野 栄 様	花輪 靖雅 様		
大江 竜雄 様	塩谷 誓勝 様	坂内 寿勝 様		
大島 壽治 様	清水 史子 様	平井 律子 様		
大橋 惇 様	末 信一郎 様	藤垣 元治 様		

法人・団体

株式会社あけぼの学院 様
共同コンピュータ株式会社 様
嵯峨野株式会社 様
株式会社羽崎組 様
株式会社山岸 様



7月

個人

青木 直美 様	齊藤 泰二 様	寺岡 英男 様	三津谷正典 様	山本 芳夫 様
青木 宏樹 様	坂井 博昭 様	堂前 廣 様	嶺山 秀明 様	湯浅 文雄 様
赤田 鈴枝 様	定 明子 様	永井 智 様	村上 清美 様	横山 安子 様
赤松 善弘 様	定 正弘 様	永井 崇司 様	本村 弘幸 様	吉川 芳男 様
浅井裕美子 様	皿澤 文子 様	中澤 純子 様	樫山 俊浩 様	吉田 和子 様
朝倉 俊行 様	清水 則明 様	中島 真 様	森 透 様	吉田喜代則 様
天野 光雄 様	新野 秀志 様	長濱 豊 様	森田 眞澄 様	吉田久美子 様
荒川 亨 様	末 信一朗 様	中村久美子 様	山内 高弘 様	吉田 剛 様
井上 彪 様	杉岡 清一 様	中村 順子 様	山口 光孝 様	和氣 勝海 様
岩野 安廣 様	砂田 浩輔 様	中村誠一郎 様	山下 詠子 様	鷺田 一意 様
岩本 明裕 様	墨谷 義則 様	中山 美房 様	山下 恵代 様	和田 陽子 様
上坂 栄子 様	関 尚久 様	野杵 武男 様	山下 隆男 様	渡辺 信雄 様
上坂 治 様	大海勢津子 様	野尻 悦嗣 様	山品 文子 様	渡辺 本爾 様
上杉 一郎 様	高階 裕子 様	橋本 正圓 様	山田 悦子 様	ほか 匿名希望 84名
上田 晃嗣 様	高塚 亮三 様	長谷川和子 様	山田 和典 様	
上田 孝典 様	高橋 久和 様	長谷川幸子 様		
上田美千代 様	高橋 正之 様	馬場三千代 様		
内田 高義 様	高村 紀子 様	林 洋子 様		
大野 文代 様	田倉 弘一 様	原田 悦子 様		
大場 和子 様	田倉 富栄 様	平井 康夫 様		
岡田 映子 様	竹川 博康 様	廣嶋 一良 様		
岡田 貞夫 様	竹中 史子 様	藤尾 繁郎 様		
岡田 由嗣 様	田中 幸一 様	堀 照夫 様		
柿本 精一 様	田中 弘子 様	前田 浩幸 様		
加藤 陽 様	田中 弘 様	牧野 浩一 様		
河合 方葉 様	田中 博之 様	牧野 雄二 様		
川谷 康代 様	田中三貴恵 様	松川 正数 様		
川畑 庄治 様	溜北 雅隆 様	松木伸太郎 様		
川端 敏隆 様	土田 久信 様	松島 和子 様		
児嶋美恵子 様	土屋 紀和 様	松田 公二 様		
小林 勝幸 様	筒井 政善 様	松田 新一 様		
古村 紀子 様	坪田 光司 様	松間 文孝 様		
近藤 洋子 様	坪田 智鶴 様	松間利恵子 様		
齋藤 紀子 様	寺岡 孝子 様	水野 幸郎 様		

法人・団体

株式会社ict4e 様
 アイテック株式会社 様
 株式会社ウエマツ 様
 株式会社HCI 様
 株式会社オーディオテクニカフクイ 様
 医療法人社団河原皮膚科医院 様
 Genky DrugStores株式会社 様
 医療法人弘昭会 様
 医療法人社団こじま肛門外科 様
 嵯峨野株式会社 様
 株式会社シンカイ 様
 轟産業株式会社 様
 西島木材株式会社 様
 平崎特許事務所 様
 福井県医師会 様
 ユアサ株式会社 様

8月

個人

青木香代子様	河崎富美子様	高橋和枝様	細谷朋子様	山腰甚一様
赤尾陽子様	川鱸定明様	竹澤沙貴様	堀田紀好様	山下尚美様
浅田恵子様	川端信代様	竹澤宏保様	前田和枝様	山野知之様
荒木宇子様	北島和子様	竹澤優善様	牧野憲昭様	山本きみ子様
粟田貞子様	木戸一朗様	多田和博様	松木延倫様	湯浅忠様
石井昭子様	木原康子様	田中藍子様	松澤幸江様	吉川知輝様
石黒寛子様	木村芙美子様	田中利幸様	松田敬子様	吉澤君子様
板本智恵子様	木村義彦様	田中典子様	三浦秀彦様	吉田滋様
稲垣哲治様	樟本克明様	佃恵美様	南谷和代様	吉田富栄様
井上恵子様	久保昌義様	出藏直美様	村上善光様	吉田由美子様
今井静雄様	久米田淳子様	寺岡英男様	文珠四郎悦子様	若松静榮様
今井佑季様	小木輝恵様	寺嶋裕子様	安田年博様	渡辺文世様
今井由貴様	後藤壽恵様	戸田總子様	山縣正敏様	渡辺雅之様
今村真人様	小林実様	刀禰諒子様	山川恭子様	渡邊裕子様
上木康子様	小林勝幸様	内藤義弘様	山口信嗣様	ほか 匿名希望 90名
上坂守男様	今藤綾子様	永井崇司様		
上野敬子様	今藤治様	中川真様		
宇佐美章子様	西行美様	中川美津恵様		
大井攝子様	齋藤昌利様	永田三千代様		
大矢智子様	酒井聡美様	中野芙美子様		
岡田正一郎様	坂上喜一様	中村清様		
鋸屋恵美子様	笹木俊男様	中村了一様		
荻原昭人様	佐部タツ子様	西田久美子様		
垣東佳宣様	佐部成男様	西田隆様		
樋廣美様	澤田信子様	西出光夫様		
柏木邦夫様	島田壽代様	野垣勝彦様		
加藤幸子様	清水啓司様	野尻悦嗣様		
加藤英和様	清水健史様	能村眞佐子様		
加藤裕子様	杉左近孝夫様	橋本栄二様		
加藤宏吉様	鈴木明子様	馬場朝子様		
河合君代様	千田良平様	林真理子様		
川内秀典様	高倉千賀子様	東出幸男様		
川岸絢子様	高澤ひとみ様	飛田甫様		
川崎悦子様	高野豊様	藤井繁子様		

法人・団体

株式会社永和システムマネジメント 様
 有限会社昂成都市計画 様
 嵯峨野株式会社 様
 株式会社住みかえ情報館 様



9月

個人

青柳 裕 様	赤澤 孝 様	赤松 善弘 様	天谷 幸弘 様	荒木 良子 様	市野 好一 様	井上 彪 様	伊與 映子 様	上田 弘幸 様	上野 敬子 様	漆崎 幸江 様	岡崎 弘宣 様	柿本 精一 様	柏崎 研二 様	加藤 英人 様	兼吉 昭雄 様	清川 肇 様	久保 俊岳 様	黒川 佳彦 様	河野 陽子 様	小林 弘行 様	斉藤 衣代 様	酒井 貞美 様	酒井 達郎 様	坂田 健樹 様	佐藤 尚明 様	塩見 淑江 様	芝 健治 様	白神 憲一 様	鈴木真寿美 様	関川はるみ 様	善木 則夫 様	曾野千鶴子 様	高野 庄治 様	竹内 壮太 様	竹内 孝充 様	武川 博一 様	田嶋 敬大 様	田中 太 様	溜北 雅隆 様	筒井 政善 様	坪川 清隆 様	坪田 光司 様	友兼 昭喜 様	永井 禮子 様	中村英美子 様	中村 清 様	野口つぎ代 様	野崎 透 様	萩原 彦昭 様	橋本 光一 様	花野 猛 様	林 雅之 様	福岡 章夫 様	藤尾 繁郎 様	堀 康子 様	前川 孝夫 様	前側 宏 様	牧野 浩一 様	丸山 晴之 様	三浦幸一郎 様	見谷 文子 様	室戸 實 様	安田 年博 様	柳本 成一 様	山内 信哉 様	吉田弥恵子 様	吉光 克弘 様	渡邊千代子 様	ほか 匿名希望 32名
--------	--------	---------	---------	---------	---------	--------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	--------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	--------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	--------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	--------	---------	--------	---------	---------	--------	--------	---------	---------	--------	---------	--------	---------	---------	---------	---------	--------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	-------------

法人・団体

株式会社あけぼの学院 様
 株式会社ウエキグミ 様
 株式会社ウエマツ 様
 ゲンキー株式会社 様
 医療法人弘昭会大森整形外科リウマチ科 様
 興和江守株式会社 様
 嵯峨野株式会社 様
 株式会社シー・シー・ユー 様
 戦略組織コンサルティング合同会社 様
 株式会社パシフィックテクノロジー 様
 有限会社ハート住宅 様
 株式会社プログラミングファスト 様
 ユアサ株式会社 様

ほか 匿名希望 1件

10月

個人

明石 行生 様	石田 久哉 様	井波 孝夫 様	白井 善丸 様	内田 幹雄 様	奥野 貴士 様	角田 大夢 様	片山 広子 様	河合 恭江 様	木内 晃 様	北村 眞一 様	國久 繁雄 様	國久 容子 様	黒田不二夫 様	上月 宏司 様	坂下 在良 様	佐藤 朋子 様	清水 浩子 様	高田 秀雄 様	坪川 美穂 様	寺嶋 裕子 様	内藤 正 様	中澤 純子 様	中西 重裕 様	南東 勝美 様	入羽弘之・美佳 様	藤田 正昭 様	寶居 良子 様	松尾 慶子 様	真鍋 恭弘 様	宮川 久子 様	三好 慶信 様	村田 桂子 様	村田 嘉孝 様	横田さと子 様	吉岡眞里子 様	吉田満寿子 様	和田 真生 様	渡辺 康仁 様	ほか 匿名希望 17名
---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	--------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	--------	---------	---------	---------	-----------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	-------------

法人・団体

株式会社エスタイル 様
 医療法人社団河原皮膚科医院 様
 嵯峨野株式会社 様
 株式会社高島鉄工所 様
 藤井防災エネルギー株式会社 様

ほか 匿名希望 1件

「特別栄誉学友」並びに「栄誉学友」ご芳名

(R2.10.22付贈呈者)

福井大学に対し多額のご寄附を賜りました方々へ、称号を贈呈させて頂いております。

特別栄誉学友

入江 良彦 様
サカイオーベックス株式会社 様
福井大学医学部同窓会白翁会 様

栄誉学友

相磯 良充 様
株式会社アイビックス 様
川田 達男 様
葛原 正明 様
玉木 洋 様
坪田 光司 様
株式会社TOKO 様
株式会社ネスティ 様
株式会社羽崎組 様
福井大学工学部学生育成会 様
福井大学同窓経営者の会 様
株式会社マルツ電波
マルツエレック株式会社 様
株式会社ミルコン 様
柳川大橋機械株式会社 様

(五十音順)

基金の活用状況

これまでに、総額6,870万円を延べ1,349人の学生への支援と附属病院の環境改善に有効に活用させて頂いております。

活用事業	活用実績 (延人数・金額)	
新型コロナウイルス感染症の影響によるアルバイト収入減学生への修学等奨学金	1,000名	2,479万円
予約型奨学金	6名	180万円
学生修学支援奨学金	120名	1,200万円
福井大学交換留学生等奨学金	27名	319万円
福井大学私費外国人留学生奨学金	1名	20万円
医学部及び大学院医学系研究科海外留学奨励金	8名	40万円
工学部学生海外派遣支援金	12名	161万円
工学研究科博士後期課程私費外国人留学生修学支援奨学金	16名	480万円
連合教職開発研究科奨学金	159名	1,901万円
附属病院の環境改善		90万円

福井大学基金の支援事業を 8事業に拡大しました (令和2年11月～)

福井大学基金は、より一層の地域社会の持続的発展のために、新規事業「②学生・若手研究者研究支援事情」を開始しました。「応援したい」と思われる事業へのご支援をお願い申し上げます。

事業名	事業概要
① 学生修学支援事業	経済的な理由により修学が困難な学生さんの修学を支援します。【全学】
② 学生・若手研究者研究支援事業 新規	学生又は不安定な雇用状態にある研究者の研究等を支援します。【全学】
③ 高度専門職業人育成支援事業	グローバル社会で活躍出来る優れた高度専門職業人育成のための修学支援や教育研究環境整備を行います。【全学・学部別】
④ グローバル化・地域振興支援事業	グローバル化対応や地域振興のための学生・教職員の活動を支援します。【全学】
⑤ 附属病院の応援	患者さん一人ひとりに安全で質の高い医療を提供し、福井県内唯一の特定機能病院として県民の皆様への期待に応えます。
⑥ 教職大学院の応援	次世代の教育を担う連合教職大学院の院生の修学を支援します。
⑦ 附属学園の応援	教育学部附属学園の教育・研究の活性化を図ります。
⑧ 工学部創立100周年記念事業及び工学系の教育・研究の応援	2024年に創立100周年を迎える工学部の記念事業並びに工学系の優れた人材の育成と研究の推進に活用いたします。

福井大学基金の詳細については福井大学HPをご覧ください。 <https://www.u-fukui.ac.jp/kikin/>

お問い合わせ先 | 福井大学基金事務局

〒910-8507 福井県福井市文京3丁目9-1

TEL 0776-27-9903 (ダイヤルイン) FAX 0776-27-8518 E-mail kikin@ad.u-fukui.ac.jp





使った人は 断然お得!!



ふくいの「いま」と「お得」を届ける
FBCアプリ

ダウンロード・アプリ利用料

無料

¥0 FREE!

※通信料はお客様負担になります

メリット
アプリの主な「お得」は3つ!!

いつでも
見られる

- ◆ 県内ニュース(動画配信)
- ◆ 防災情報/番組・イベント情報
- ◆ 「なまみえラジオ」配信など

特典を
受けとる

- ◆ ポイントを集めて商品交換
- ◆ アプリ限定プレゼントなど

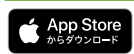
カンタン
即・応募

- ◆ 「おじゃまっテレ」人気コーナー「現金獲得チャンスタイム」のクイック応募



iPhone

ダウンロードはこちら



Android

ダウンロードはこちら



アプリストアで

Q FBCアプリ

と検索

